

頭を抱える「ダメダメくん」「非常識さん」の取り扱い説明書

困った社員の活かし方講座



管理者やリーダーが心得ておきたい **育成・指導のツボ**

最近、「困った社員」ということが盛んに聞かれるようになりました。少し前であれば業績が上がらない、規律に従わず規律を乱すといった「問題社員」が職場での問題解決の遡上に上り、サービス規程などでの就業規則の徹底などの対策が講じられてきました。

今、言われる「困った社員」は、他者への理解が欠如し、自己を基準とした自己本位の行動や主張を重ね、周囲に負担や迷惑を強いて、職場を混乱させ、業績アップの妨げにもなっています。

本講座では、職場で放置されている「困ったくん」を、「イラつかず、怒らず、あきらめず」、しかも放置せずに、戦力に変える方法を説きます。

とくに、あなたの周りの「困ったくん」「困ったさん」のキャラクターと資質の2面に焦点を当て、困った社員の活かし方を実際の経験や事例を踏まえながら、育成・指導のツボをお伝えします。

経営者・管理者・リーダー社員の受講を強くお勧めします。

プログラム

■ダメダメ社員とは

- 1) キャラクター
- 2) 資質
- 3) ダメダメ社員はダメダメヒストリーから生まれる
 - ・困った社員・ダメダメ社員は傷ついている
 - ・困った社員・ダメダメ社員の歴史は受け入れられない歴史

■キャラ系ダメダメ社員はそのままでは永遠の旅人

- 1) マズローの法則
- 2) 偏った考えと行動には理由がある
- 3) 性格は単なる化学反応
- 4) 圧倒的に足りない受容体験、成功体験、そしていじめ
- 5) 成長のチケットを誰が発行するのか？
- 6) 期待するほど逆効果、エネルギーを注がない
- 7) 「熱意」より戦略と見極めとルーチン
- 8) ダメダメの原因こそ強み

■資質系ダメダメ社員は無形情報に極端に弱いと心得る

- 1) 文字や言葉にならないことはわからない
- 2) 常識ってなに？行動と心根は分けて考える
 - ・本当にやる気がないのか？
 - ・会社に反発や異議がある？
- 3) 非言語情報をキャッチできない二つの推測
- 4) 非言語に依存しない指示出しと会話が効果的
 - ・ニュアンス
 - ・あいまい表現
 - ・前提
- 5) 有形情報への圧倒的な強さを生かす
- 6) 「違い」の相互承認、相互受容、共通言語化が本当の一步
 - ・とことん客観
 - ・同意納得の工夫
 - ・責めずに共に考える

■発想の転換

- 1) 指導者の「欲」を捨てる
- 2) 業務優先、効率優先、「誰が変わる」のが現実的？
- 3) 最大の長所と最大の短所は同じ源（みなもと）

※【ご持参いただくもの】筆記用具

定員30名になり次第、締め切りとさせていただきます

弊社は、「宮城県の企業に働くビジネスパーソンのスキルは全国で最も高い」と言われる日が訪れることを願って公開講座を続けています！

主催 仙台でセミナー企画、全国への講師派遣、21年の実績！

(株) ホップステップ

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-5
TEL 295-2766 FAX 295-2788

2014 **11/21** (金)
午後1時30分～4時30分
卸町会館 3階会議室

■講師■

ワッツ・ビジョン代表
コミュニケーションプロコーチ
笹崎 久美子



受講料・申込方法・お支払方法

受講料●1名4,320円
(テキスト・資料、税込)
申込み●下記申込書に記入の上、来る11月17日までFAXにてお申込み下さい。受講料は予め銀行送金にてお願いします。
振込先●七十七銀行名掛丁支店
普通預金 9167099
株式会社ホップステップ

講師

1960年生まれ。広告制作、写植・版下業の後、食材宅配セールス、精密部品工場（協力会社統括マネージャー）、プロバイダーコールセンター（統括SV）を経て2008年、コーチングプロコーチ・研修講師として独立。新人育成やスタッフ管理の実績と数々の体験エピソードから、現場重視の実践的な内容にユーモアを加えた各種の研修・講演を展開。ワークや演習を多く取り入れることで参加者の主体性を引き出し、動画や録音等を活用する内容が参加者の興味と関心を引き付け、時間の長さを感じさせない研修が毎回好評。

申込FAX 295-2788

困った社員の活かし方講座 参加申込書

会社名			お電話	
ご住所	〒	-	FAX	
参加者名		参加者名		